

【総合的な学習の時間】 第26回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 制作活動の完了

2. 本時の概要

本時は、「なかよし学園プロジェクト」における制作・試作フェーズの最終日(完成・提出予定日)にあたる100分(50分×2コマ)の授業である。これまでチームで推し進めてきた試作(プロトタイプ)を完成形へと仕上げ、実社会のルールや国際配送の制約をクリアした成果物として提出可能な状態にすることをねらいとしている。

前半(1時限目)は、「LIFEログ」の今月3個目となる入力を行い、これまでの気づきや学びのプロセスを自己省察として蓄積する。その後、探究計画書のスケジュールで本日(1月24日)が最終完成日であることを再確認し、目標達成に向けた「今日の予定・目標」を記述する。教員からは引き続き成果物の目安(B5用紙・5枚まで)や国際宅急便の規制についての指導を行い、最終的な形への追い込みを行わせる。

後半(2時限目)は、各役割(文章・イラスト・工作・データ作成等)の最終仕上げを行い、成果物を完成させる。終了前にはパーツの紛失や他チームとの混同を防ぐため、全てのパーツや袋にチーム名を明記してコモンスペースの指定場所へ回収・保管を徹底する。最後に計画書へ「本日の活動内容」と「次に行うこと」を記録し、プロジェクトの制作段階を完全に完了させる。

これらの活動を通して、限られた納期の中で現実的制約を遵守しながら成果物を形にする問題解決力を高めるとともに、最後まで責任を持って協働する自律的活動力を養うために本時を設定した。

3. 本時の目標

- 最終納期に向けた計画的実践と自己省察(自律的活動力に関わる目標):

LIFEログによる振り返りを継続するとともに、本日が最終完成日であることを強く意識し、逆算した具体的な作業目標を設定して実行できる。

- 配送制約を満たした成果物の確実な完成(問題解決力に関わる目標):

サイズ制限や国際配送の規制などの現実的制約を厳守し、チームで協力してクオリティの高い成果物を完成させることができる。

- 責任ある成果物管理と次段階への見通し(表現力・協働性に関わる目標):

全ての制作物・パーツへの記名と指定場所への確実な片付けを行い、本日の活動成果と今後の見通しを計画書に的確に記録・共有できる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第26回

- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館
- 生徒用配布プリント:
 - 探究計画書

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の流れの説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)制作活動の開始・試作[最終仕上げ])を確認する。	本日が制作物の最終完成日であることを強く意識させ、緊張感を持って作業に入るよう促す。
9分	② LIFEログの入力ワーク ・端末でスクールタクトを開き、「総合的な学習/探究 LIFEログ」の「1月」の課題にアクセスする。 ・本日3個目となる日々の気づきや学びのプロセスについて、4～5行を目安に入力する。	・文字サイズの変更はせず、リアルな気づきを豊富に溜めておくよう改めて伝える。 ・1月末からLIFEログを用いた授業を予定している旨を継続してアナウンスする。
5分	③ 探究計画書のスケジュール確認と目標設定 ・各自のチームの「探究計画書」を開く。 ・【7】スケジュールにある完成日を再確認する。 ・本日の欄の下に「①今日の予定・目標」を書き足し、「今日中にどこまで仕上げて完成させるか」を具体的に記入する。	・最終提出に向けて、「時間内に何を終わらせるべきか」をチーム内で完全に合意させる。
35分	④ 制作ガイダンスと制作・最終仕上げ活動	・薄い紙製冊子以外の立体物になっていないか、国際配

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	・制作物の目安について再確認を促す。 (冊子等の場合:大きさはB5用紙、枚数は1チーム5枚まで) ・「国際宅急便で送れないもの」の基準に抵触していないか最終確認する。 ・カッターやハサミの使用に関する安全上の注意(手元への集中、怪我の即時報告)を受け、最終制作に取り組む。	送の規制をクリアしているかを厳しく確認する。 ・デジタル制作チームについては、印刷の要不要や提出データの最終確認を行う。
10分	休み時間	・教員は各チームの完成度を把握し、2限目の回収・片付けに向けた指示を準備する。
【2時限目】		
40分	⑤ 制作活動の完了と片付け・保管 ・チームごとに集中して制作活動の最終仕上げを行い、成果物を完成させる。 ・作業終了時、パーツの紛失や混同を防ぐため、全てのパーツや袋に必ず「チーム名」を明記する。 ・完成した制作物や残った材料を回収し、コモンスペースのクラスごと指定場所へ綺麗に片付ける。	・提出期限に遅れるチームが出ないように、残り時間を定期的にアナウンスする。 ・共有スペースを利用するため、迅速かつ確実な片付け・保管を徹底指導する。 ・教員は机間巡視を行い、すべてのチームが完成・提出できたかを確認する。
10分	⑥ 探究計画書の振り返り記入(終了時) ・探究計画書の本日の欄に、以下の項目を追加で入力する。 「②本日の活動内容」実際にできたこと、担当した作業 「③次に行くこと」来週の持ち物、今後のタスク ・購入依頼の最終確認や、次回の授業に向けた連絡事項を確認する。	・「②本日の活動内容」には、制作物が計画通りに仕上がったかどうかの振り返りも記述させる。 ・制作フェーズがこれで完了するため、次ステップ(発表準備や振り返り等)に向けて気持ちを切り替えさせる声かけを行う。

